



IGアリーナ (愛知国際アリーナ)

名古屋市北区名城1丁目4-1

構造／地上5階建（最高高さ41m）

鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

最大収容人数17,000人（立見含む）

竣工／2025年3月

延床面積／62,540.68㎡

木材使用量／約372㎡（うち県産木材約49㎡）

樹種／スギ等

発注者／愛知県

事業者／株式会社愛知国際アリーナ

設計／前田建設・隈研吾建築都市設計事務所・大建設計 愛知国際アリーナ設計共同体

施工／前田建設工業株式会社 中部支店

特徴的木づかいと最先端技術が融合した、世界トップレベルのグローバルアリーナ

1964年に竣工した愛知県体育館が積み重ねてきた歴史と伝統を引き継ぐ、愛知・名古屋の新たなシンボルとなるアジア最大級、世界最先端のスマートアリーナとなっている。

世界的に著名な建築家である隈研吾氏によって外観及び内部空間の一部がデザインされており、外観デザインは、名城公園の緑と調和する木々をイメージした「樹形」のデザインで、木陰空間を作り出し公園との一体感を創出している。

内部空間のデザインには、1階エントランス、2階プレミアムエントランス・コンコースなどに、愛知県産のスギを利用した、木の枝葉のように広がるような木組みが特徴的な木陰天井が設けられており、様々な場所で「樹形」の延長と安らぎを感じられる空間を提供している。

また、2階・3階に設置されているバーカウンターのデザインにも国産材が使用されている。



▲2階プレミアムエントランス



▲木陰天井木組